社会資本総合整備計画（港湾・海岸）事業概要　～ 災害に強く地域経済を支える港づくり ～

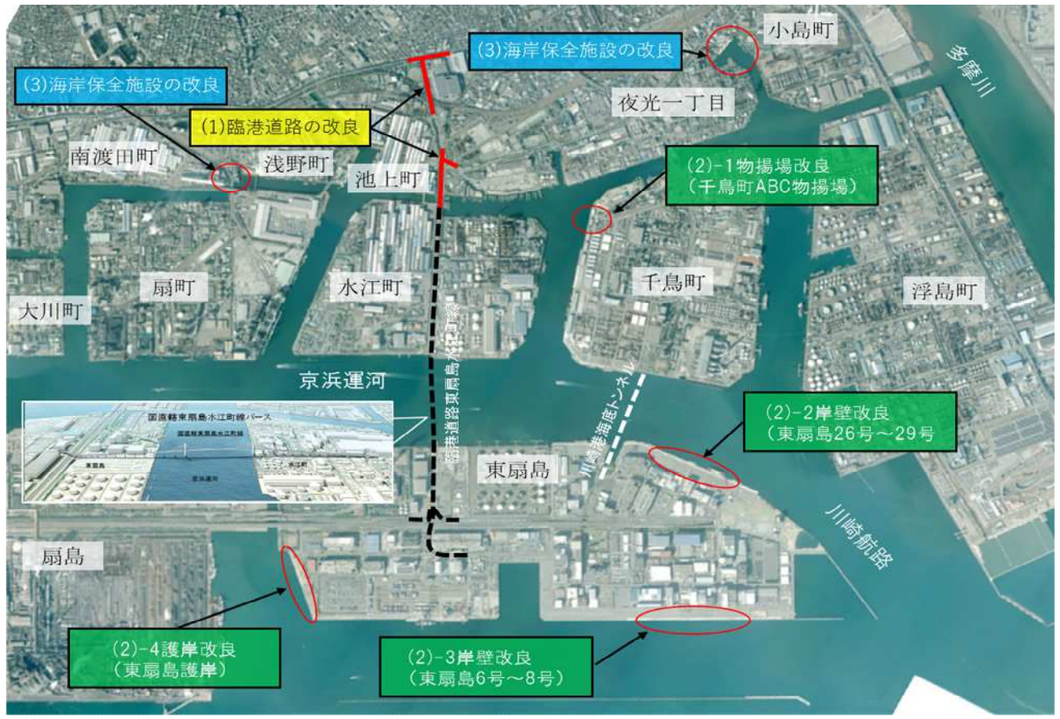
（1）物流機能および防災機能を強化するための臨港道路※1の改良

臨港道路の改良

臨港道路東扇島水江町線事業は、川崎臨海部の大規模土地利用転換に資する広域的な道路ネットワークを形成し、国際戦略港湾川崎港における交通ネットワークの拡充による物流機能の強化及び緊急物資輸送道路の多重化による防災機能の強化を目的としています。

本計画では、臨港道路東扇島水江町線の供用に伴う周辺環境対策として、交通負荷の増大が見込まれる市道皐橋水江町線川崎臨港警察署前交差点や池上町交差点等について改良を行い、交通渋滞の緩和を図りました。

事　業　位　置　図

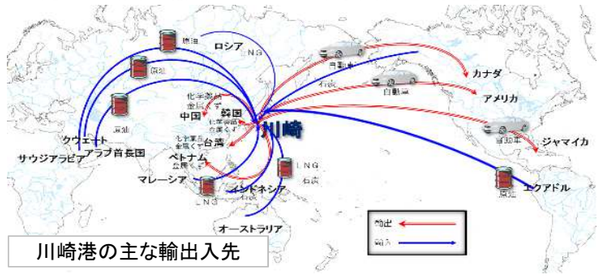


（2）物流活動を支えるための既存外郭施設※2・係留施設※3等の延命化

港湾施設の延命化

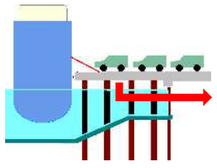
川崎港の貿易相手国は世界各地に広がっています。輸出においては、北米向けの完成自動車、輸入においては、家具、日用品を多く取り扱っています。

完成自動車の船積み状況



川崎港の主な輸出入先

物流活動を支える桟橋等の下面部は、下の写真のようになっており、老朽化により施設が損傷し、物流活動等に支障が発生しないよう、日々施設の維持管理に努めております。本計画では、鋼管杭等を海水による腐食から守るための防食を更新し、施設の延命化を行いました。



船積みのイメージ

桟橋下面部の様子

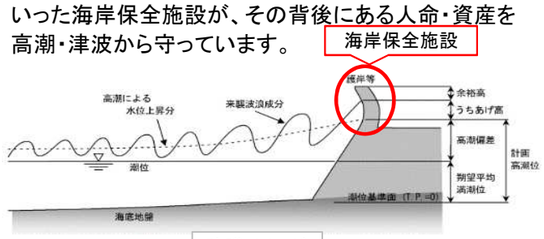
被覆防食 ※鋼管杭等を腐食させる海水を遮る

電気防食 ※鋼管杭等の腐食を遅らせる

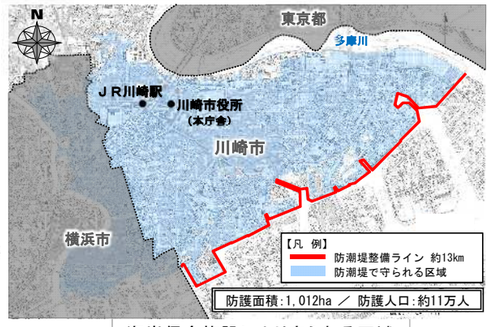
（3）津波・高潮時において、市民の生命と財産を守るための海岸保全施設※4の改良

海岸保全施設の改良

川崎港では、海岸線に備えられた防潮堤や防潮扉といった海岸保全施設が、その背後にある人命・資産を高潮・津波から守っています。



防護イメージ



海岸保全施設により守られる区域

津波・高潮の発災時に、防潮扉（陸閘）の閉鎖作業員の安全を確保するため、閉鎖作業の迅速化を目的とした改良を進めました。

陸閘開閉イメージ

用語：※1：臨港地区内の道路　※2：陸地を形成するための施設　※3：船を着船させるための施設
※4：内陸部への浸水を防ぐための施設